

2022 度 秋の医療講演会 (最終案内)

炎症性腸疾患の内科的治療の 進歩と手術症例の変遷

生物学的製剤の登場の前後で、IBD の手術の頻度や対象者って変わった？

手術をしても薬は必要？
何科に通えばいいの？

潰瘍性大腸炎でガンを併発したら、大腸全摘するのかしら？

大腸手術後に肛門に直結したら、排便回数、夜間の便意、肛門痛など起こりえる症状と頻度は？



クローン病の大腸狭窄って、その狭窄部分だけ切除できる？

痔瘻を繰り返すとガンになりやすいのか？痔瘻のガンへの対処は？

大腸全摘した方のその後の生活状況を聞きたい。ストマ派、肛門派で体調や気を付けていること、病院から言われてもできない事、自分なりの工夫



当日は、池内先生のご講演の後、小グループに分かれて感想交流、そして全体質疑を行います。

講師：池内 浩基 (いけうち ひろき) 先生

兵庫医科大学 消化器外科学講座 炎症性腸疾患外科
主任教授 診療部長 IBD センター長

主催：北海道潰瘍性大腸炎・クローン病友の会

後援：一般財団法人北海道難病連、NPO法人IBDネットワーク

日時：2022 年 11 月 12 日 (土) 14 時 30 分～ 16 時 30 分

方法：①ご自宅等から Zoom 参加

②札幌教育文化会館403へ来場 定員40名
(札幌市中央区北 1 条西 13 丁目)

③釧路市交流プラザさいわい 209 へ来場 定員18名
(釧路市幸町 9 丁目 1 番地)



出欠は、右の QR コードか、同封のががきで10月24日必着でお申込み下さい。

コロナ対策のため来場は予約制です。新型コロナウイルスまん延時は完全オンラインとします。

②又は③に申し込まれた方には11月9日までに、開場するかをご連絡致します。

